



日本展示学会

移動展示を考える160分

どこでもいつでもだれでもミュージアムを楽しむことができないでしょうか。

移動展示なら実現できるかも。オフィス街を彩るツールとして、ショッピングモールの憩いの場として、水族館や動物園の出前事業、学校や公民館でのモバイルミュージアム、野外観察会や公園でのフィールド展示、都市部の博物館に出かけることが困難な地域への出張展示など、様々な場面において、移動博物館が注目されつつあります。今回のフォーラムでは、各地で実際に活動されている方々に話していただき、会場の皆さんも交えて、移動博物館らしい展示制作のあり方や意義について議論したいと考えています。移動展示にたずさわる方々が一堂に会する機会は、きっとはじめてのこと。関心のある方のお越しをお待ちしております。



第32回 日本展示学会 公開フォーラム

移動展示の新展開 古くて新しい方法論

2013 6月 15日(土)

要申込み

学会参加者は申し込み不要 & 参加費不要

参加費 500円

学会参加者は無料
非学会員の方も参加可能

場所 兵庫県立人と自然の博物館 ホロンピアホール

15時20分～18時

兵庫県立人と自然の博物館(三田市)へのアクセスは
ホームページ(www.hitohaku.jp)をご覧ください

【プログラム】

話題提供

- 趣旨説明 三橋 弘宗 (兵庫県立人と自然の博物館)
- 京大博物館のアウトリーチプログラム
大野 照文・中川 千草 (京都大学総合博物館)
- ベアトランクを用いた教育実践 ～日本クマネットワークの事例など～
植木 玲一 (北海道札幌啓成高等学校)
- 虫と共に街を楽しむ、伊丹市中心市街地での取り組み
坂本 昇 (伊丹市昆虫館)
- 琵琶湖博物館の移動博物館事業とその展開
山川 千代美 (滋賀県立琵琶湖博物館)
- ひとはく地域展開とゆめはくの導入
山崎 義人 (兵庫県立人と自然の博物館)
- 移動・遊動するミュージアムーモバイルミュージアム
洪 恒夫 (東京大学総合研究博物館)
- 学びと出会いを届ける巡回展の試み「回遊展:クジラとサンゴの物語」
清水 麻記・江藤 信一 (NPOミュージアム研究会)

パネルディスカッション

- コーディネーター
五月女 賢司 (吹田市立博物館)
- コメント
朴 燦一 (建国大学校建築専門大学院)
- 北村 彰 (日展)
- 長谷川 辰也 (トータルメディア研究所)

申込み方法

電子メール、FAX、ハガキにて、氏名、連絡先等をご記入の上、下記の宛先までお申し込みください。

〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目
兵庫県立人と自然の博物館
展示学会公開フォーラム事務局宛
Fax: 079-559-2033
電子メール: hiromune@hitohaku.jp

締め切りは6月12日(水)まで
(先着順・定員400名まで)

<http://www.tenjigaku.com/news/201332.html>